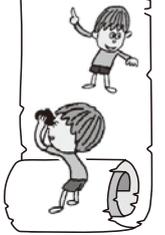




第23弾

ありたい姿 探検記



お問い合わせ
政策推進課
☎ 4-2511 内線 235
☆ 4-251102

前回のおさらい

トピック：〔G7札幌〕
2大テーマは自動車部門の脱炭素化／石炭火力の扱い

共同声明

・2035年までに温室効果ガス60%削減
・CO2排出削減の対策がない場合、化石燃料を段階的に廃止
・プラスチックごみによる更なる海洋汚染などを2040年までにゼロに

先月号は、G7気候・エネルギー・環境大臣会合と下川町への影響をみてきました。今月は、下川町の音楽イベント「下川とんちんかん楽団」をご紹介します。

下川とんちんかん楽団とは？

3月から活動を始めたこの楽団、月に1度の頻度で音楽に触れる機会をガーデニング・フォレスト・フレペで提供しています。町内の演奏家発案で、ジャズライブなどの本格的な演奏会の他、誰でも参加できる即興合奏や、音楽などの芸術に触れる機会づくりをしています。その目的は主に3つです。

- ・ 自由な表現を通じて、幅広い世代、特に子どもたちに自分の可能性を感じてもらおう。
- ・ 子どもから大人まで、音楽を通じて幅広く人とつながる場所をつくる。
- ・ 芸術に触れることで心

豊かな生活のきっかけをつくる。

なぜとんちんかん？

「とんちんかんでもいいじゃん」このひとことが始まりでした。私たちの日常は、様々な縛りで溢れています。テストでは正解があったり、仕事では規約があったりします。上手でないといけない、完璧でないといけないと考えてしまいがちです。これは音楽でも言えることです。そんな縛りが多い日々で、「正解がない自由さ」に触れる機会としてとんちんかん楽団ができました。

まちのありたい姿の視点からは？

音楽の知識がない私も

恐る恐る参加してみました。優しい雰囲気を迎えられて緊張もほぐれ、たくさん楽器を楽しみました。早速手の合図で即興合奏を試してみたら、バラバラで「とんちんかん」だった音がひとつの「音楽」になりました。難易度が高いと感じていた私にとって、月に1度音楽に触れるこの機会には、柔軟な発想と共に、新しいことに挑戦しやすくなりました。この柔軟な発想と挑戦する心は、まちのありたい姿にもつながっています。正解が決まっていない私たちの未来、どのようなまちに住んでいきたいですか？その未来をつくるのは私たち自身です。町民の数だけ、下川町のありたい姿があります。その声を集め、下川町で挑戦

をしていくところですが、私たち下川町民が楽しく暮らせる未来につながっているのではないのでしょうか？

今月は下川とんちんかん楽団について取り上げました。次回の予定は6月18日です。音楽・芸術に身近に触れるきっかけとして参加してみたいかがでしょうか？



充実版は公式noteへ